



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2023年2月19日 No.578

2023春闘シリーズ⑧



定期昇給は所定昇給額の 完全実施を求めます！

JR東日本の賃金は、年功型賃金をベースとした「総合決定給」と言われており、55歳まで毎年、所定昇給額による定期昇給が実施されます。しかし、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響などによる赤字決算を理由に定期昇給は実施されたものの「昇給係数」は「2」となり、所定昇給額が減額されました。そもそも昇給係数の調整に関しては、私傷病などによる「欠勤」や「懲戒処分」「特別加給」の場合に適用されるものであり、定期昇給の実施はそれぞれの等級に定められた所定昇給額でなければなりません！

所定昇給額が減額されたことにより、月々の賃金はもちろん、超勤などの毎月の手当やさらには期末手当（夏、冬のボーナス）など、基本給によって算出されるすべての手当に反映されることになり、生涯賃金にも大きな影響を及ぼしています。

多くの社員が住宅ローンの返済など退職までの収入を考えて生活設計を立てています。安心して退職まで働ける環境にするため、定期昇給は所定昇給額の完全実施を求めます！

定期昇給とは

定期昇給とは、毎年一定の時期を定めて社員の年齢や勤続年数にあわせ、社内の昇給制度に従って行われる昇給のことをいいます。

鉄道業は、社員一人ひとりが年々経験や知識、技能を向上させながら業務に従事することにより「安全・安定輸送」を確保し続けています。

社員が退職まで「安心・安定」した生活を送るために働いていける仕組みである「終身雇用」と「年功型賃金体系」を維持していくことが、JR東日本の「安全」を持続的につくりだすことにつながっていくことになります。

東日本ユニオンに寄せられた「声」

- ★やっぱり昇給係数2になったのは痛い。他の企業は賃上げに前向きで、うちの会社は「慎重に」と言っていた。ぜひ、賃上げを勝ち取ってほしい。
- ★退職を迎えるまで安心して働きたいので、定期昇給はどんなことがあっても所定昇給額でなければならない。
- ★多くの社員が住宅ローン返済など、退職までの収入を考えて生計をたてている。安心して退職まで働ける環境でなければならない。
- ★もう定期昇給が減らされるのは勘弁してほしい。

